

りふ 議会だより

6月定例会

CONTENTS

| | |
|------------------------|------|
| 議案審議 | 2 |
| 防犯灯・道路照明灯LED化へ 補正予算 | 4 |
| S・L・E・L解体撤去工事 一般質問 | 7 |
| 10人の議員が22件を質問 アンケート | 綴じ込み |
| 議会活性化アンケート いきいき活動 | 22 |
| 「マチトリンク」 | |



No. 182

発行日 令和3年7月29日

明灯LED化へ



現在の道路照明灯

6月定例会

6月定例会は、6月8日から11日まで4日間の会期で開かれました。

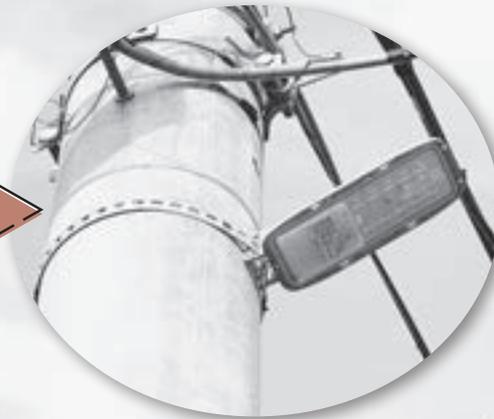
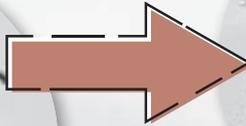
一般質問では、10人の議員が登壇し、コロナ禍での町の対応、障がい者の差別解消、脱炭素社会の実現など町政全般にわたり論戦が繰り広げられました。

町長から報告7件、承認3件、補正予算などの議案11件、委員会提出議案2件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

防犯灯・道路照



現在の防犯灯



全部がLED化されます

防犯灯等賃貸借事業

取得額 4300万円

この事業は、町民の安全安心の確保や、財政的負担の軽減を図るために、10年後の無償譲渡を条件としたリース契約です。

かねてより修理、交換の要望が多い、町や町内会が管理する防犯灯と町が管理する道路照明灯を、長寿命で省エネルギー効果の高いLED照明へ交換するものです。

審議内容

問 防犯灯と道路照明灯の比率はどうか。

答 防犯灯が2662灯、道路照明灯が478灯。金額ではそれぞれ67%と33%である。

問 交換作業から始まると思うがスケジュールは。

答 契約終了後、調査業務を9月まで行う。10月初旬頃から工事に入り、令和3年度内の完成を目指す。運用は4月からのリース開始と考えている。

問 賃貸借契約1億6900万円とある。内訳は。

答 財産の取得分として4300万円を計上している。1億2600万円は工事費用と今後10年間のメンテナンス費用である。

問 共同企業体で工事と維持管理をする。町内の事業者への発注は。

答 町の建設災害防止協議会に入っている電気業者にメンテナンス業務を提案している。

一般会計補正予算 7637万円 追加し

総額

125億円

補正予算

■一般会計の主な補正予算項目

歳入（収入） (万円未満切り捨て)

| 項目 | 補正額 | 補正の理由 |
|------------------------|---------|--|
| 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金 | +3390万円 | 新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う生活支援実施に係る補助金を追加するため |
| 子育て世帯生活支援特別給付金給付事務費補助金 | +232万円 | |
| 財政調整基金繰入金 | +3376万円 | 財源調整のため |
| コミュニティ事業助成金 | +500万円 | 事業採択に伴い助成金を増額するため |

歳出（支出）

| 項目 | 補正額 | 補正の理由 |
|-----------------|---------|---|
| 森郷児童遊園整備工事 | +7260万円 | SL・EL解体撤去並びに遊具設置工事のため |
| 子育て世帯生活支援特別給付金 | +3622万円 | 新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う生活支援として支給するため |
| まちづくり支援事業 | +10万円 | 地域に貢献している団体へ補助するため |
| (仮)りふとあつぷ作成業務委託 | +173万円 | シティーセールス冊子を作成し、町のPRとして配布するため |
| 学校給食センター災害復旧工事 | +128万円 | 令和3年2月に発生した福島県沖地震及び3月、5月に発生した宮城県沖地震の被害があった施設復旧に対する工事のため |
| 保健福祉センター災害復旧工事 | +237万円 | |

歳出
7260万円増
森郷児童遊園SL・EL
解体撤去工事

問 ELは県内で4台しかなく、残った1台である。アスベスト、※1PCBの問題があるが、補修にすると3000万円という新聞報道があった。その金額で安全対策はできるのか。

答 SL・ELの補修と塗装を行う場合の金額である。3000万円では

アスベストや、PCBを含む※2コンデンサは現地に残ることになる。仮に補修となれば解体以上の費用を要する。

問 鉄道愛好家や町民有志が保存を訴えている。現状写真の展示を含め、可能な限り丁寧な説明が必要では。

答 現状写真の展示は検討していく。町の方針としては、町民の安全のため解体の方向で進めていきたい。丁寧に説明し納得してもらえよう努める。

問 PCBの処理を令和4年3月31日までにしなければいけないが、今の段階で漏れる可能性はないのか。処理せずに期限が過ぎた場合はどうなるのか。

答 ELの屋根に穴が開いており、床も木製であ

るため劣化が進んでいる。放置しておくとも漏れる可能性があるが、現在のところは漏れていない。処理期限を過ぎた場合は町で保管施設を準備して保管しなければならぬ。撤去と同時に処理を進めたい。

問 PCBの部分のみを先に処理することは可能なのか。

答 PCBのみの処理は、配線やボルトなどが錆びて動かず、安全に外すた

めには屋根を外し、周辺の部品と一緒に取り外すため処理費が膨大となる。

問 撤去はやむを得ないが、町の歴史としてSLの動輪1つでも児童遊園に残してはどうか。

答 撤去は、町民や子ども達の命と健康を守るための苦渋の決断である。歴史的に価値のあることは理解している。提案を形にしていきたい。



ELの内部



腐食が進むSL・EL

※1 PCB=ポリ塩化ビフェニルの略称。毒性が強く、発癌性がある
※2 コンデンサ=電気を蓄えたり、放出したりする電子部品

歳出
3622万円増

子育て世帯生活支援
特別給付金事業

事業内容は。

答 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に生活支援を行う。児童1人当たり一律5万円を支給する。

問 対象者は。

答 対象児童を養育する父母等で令和3年度分の住民税の均等割が非課税世帯である。令和3年1月1日以降の収入が急変し住民税非課税相当となった場合も対象となる。

問 事前通知で辞退者が出た場合はどうか。令和4年2月末までに生まれた人も対象となるが対応は。

答 辞退した人には支給しない。令和4年2月までに生まれた人も対象とするため随時受付を行う。

歳出
10万円増

まちづくり支援事業

問 補正の理由は。

答 住民主体の地域づくりを推進するため地域に貢献している団体へ補助する事業である。令和3年度の交付申請が5団体からあった。当初の予算では1団体の採択分であ

ることから、2団体を補助するため増額した。

問 この事業が町民に浸透し、申請数が増えたと考える。さらに力を入れていくべきでは。

答 調査研究していきたい。



楽しく遊ぶ子ども達

発委1号

議会の会議規則の改正
欠席理由の追加

今まで「利府町議会議規則」には欠席の届出は「事故のため出席できないときは届け出る」との規定でした。今回、改正した内容は、「公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由で出席できないとき」とします。また、新たに「議員が30日以上出席できないとき長期欠席届を提出しなければならぬ」を追加し、欠席の理由が傷病であるときは、医師の証明書等を長期欠席届又は復帰届に添付することとします。

施行日

令和3年10月1日
(一部公布の日から)

20ページに掲載

発委2号

議員が長期欠席の場合の報酬割合を制定

「利府町議会議員の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例」を制定しました。

長期欠席の場合の報酬支払い割合

| 欠席期間 | 支払い割合 |
|------------------|---------|
| 90日を超え180日以下の期間 | 100分の80 |
| 180日を超え365日以下の期間 | 100分の70 |
| 365日を超える期間 | 100分の50 |

適用除外

- ・公務または通勤により生じた災害
- ・出産
- ・感染症のり患
- ・災害その他の議長が認める事由

施行日

令和3年10月1日

20ページに掲載

人事

固定資産評価

佐藤 清五氏
審査委員
(再任)



任期満了となる固定資産評価審査委員に選任することに同意しました。

農業委員会委員
桂嶋 賢一氏
(新任)



欠員となっていた農業委員に任命することに同意しました。

| 議案 | 今野隆之 | 渡邊博恵 | 鈴木晴子 | 西澤文久 | 伊藤司 | 坂本義也 | 羽川喜富 | 伊勢英昭 | 安田知己 | 木村範雄 | 土村秀俊 | 高久時男 | 及川智善 | 永野涉 | 遠藤紀子 | 渡辺幹雄 | 鈴木忠美 | 吉岡伸二郎 | 結果 (賛成:反対) |
|---------------|----------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|----------|---------------|
| 報告第1号~第7号 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 承認第2号~第4号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決(17:0) |
| 議案第36号~議案第44号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決(17:0) |
| 議案第45号 | 無記名投票による | | | | | | | | | | | | | | | | | 可決(17:0) | |
| 議案第46号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決(17:0) |

議案審議

令和3年6月定例会提出議案 23件
(報告7件、承認3件、議案11件、委員会提出議案2件)

- 報告1 専決処分の報告**
町道側溝上に落下していた土のうに接触し、相手方の自動車に損傷を与えた事故が、和解し専決処分としたため議会に報告
- 報告2 継続費繰越計算書**
継続費を設定している「文化複合施設整備事業」を、令和3年度に逐次繰越したことを報告
- 報告3 繰越明許費繰越計算書**
3月の定例会及び臨時会で、議決した一般会計に属する12件のうち11件の事業を、令和3年度に繰越したことを報告
- 報告4 事故繰越し繰越計算書**
令和元年台風19号道路等災害復旧事業が、積雪による施工遅延及び令和3年2月の大雨により復旧に時間を要したため、令和2年度内に工事が完了できなかったことから、令和3年度に繰越を報告
- 報告5 水道事業会計継続費繰越計算書**
利府浄水場No.2・3・4急速ろ過機電動弁更新事業を、令和3年度に逐次繰越を報告
- 報告6 水道事業会計予算繰越計算書**
神谷沢字後沢地内配水管布設替事業など3件の事業を、令和3年度に繰越したことを報告
- 報告7 下水道事業会計予算繰越計算書**
森郷字町地内雨水整備事業など4件の事業を、令和3年度に繰越したことを報告
- 専決処分の承認**
- 承認2** 「地方税法等の一部を改正する法律」と「地方税法施行令等の一部を改正する政令」が令和3年3月31日に公布された。課税上緊急を要するため「町税条例一部改正の条例」を専決処分したことの報告
- 承認3,4** 営業時間の短縮に協力した飲食店等に支給する協力金並びに、その後の「まん延防止等重点措置」の適用期間延長に伴う協力金を補正予算で専決処分したことの報告
- 議案36 町税条例の一部を改正する条例**
「地方税法等の一部を改正する法律」等が、今年の3月31日に公布されたことに伴う改正
- 議案37 復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例**
「東日本大震災復興特別区域法」等が改正されたことに伴う条例の改正
- 議案38 地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例**
仙塩広域都市計画の変更を行い、市街化区域に編入した地区計画を定めるための改正
- 議案39 一般会計補正予算**
7,637万2,000円を追加し、総額を125億6,689万6,000円とする 4,5ページに掲載
- 議案40 介護保険特別会計補正予算**
253万円を追加し、総額を22億9,737万8,000円とする
- 議案41 水道事業会計補正予算**
収益的支出を2,784万8,000円増額。また資本的支出を979万8,000円減額
- 議案42 下水道事業会計補正予算**
収益的収入及び支出の収入を12万円、支出を1,158万3,000円それぞれ増額。また資本的支出を197万7,000円増額
- 議案43 財産の取得**
防犯灯及び道路照明灯をLED灯具へ交換し、賃貸期間満了後に取得 2,3ページに掲載
- 議案44 町道の路線認定**
十三塚10号線の認定
- 議案45 固定資産評価審査委員会委員の選任**
佐藤清五氏を選任 5ページに掲載
- 議案46 農業委員会委員の任命**
桂嶋賢一氏を任命 5ページに掲載
- 発委第1号 議会会議規則の一部を改正する規則**
出産、育児や介護等で議会を欠席をする場合の届け出規定を追加。また議会への請願手続きの押印を義務付けている規定を改正 5,20ページに掲載
- 発委第2号 議会議員の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例**
議員が町議会の会議等を長期にわたり欠席した場合の議員報酬及び期末手当の支給の特例を定める条例を制定 5ページに掲載

一般質問

我々が町政を問う

質問と答弁を要約した内容は、8ページから17ページです。
なお、全文記録(議事録)は利府町議会ホームページに掲載しますので
ご覧ください。

QRコードはこちら →

利府町議会

検索



遠藤 紀子 8

- 「障害者差別解消法」の推進
- 「ぺあっこ」の充実

渡邊 博恵 9

- 不法投棄やごみのポイ捨て対策
- 公共施設の維持管理と点検

及川 智善 10

- 禁煙に向けた対策
- LGBTの人への対応

今野 隆之 11

- 「脱炭素社会」の実現に向けた取り組み
- 子どもの貧困対策
- 危険ブロック塀等の安全対策

高久 時男 12

- JAF観光連携推進事業
- コロナ禍における町の対応

木村 範雄 13

- 道路側溝脇の整備
- 農地活用の支援策
- コロナの検査拡大

安田 知己 14

- 学校のコロナ対策
- 町民プールの利用改善

鈴木 晴子 15

- 移住・定住施策の推進
- 町民からさらに信頼される行政運営

西澤 文久 16

- 乳がんの予防対策
- 投票しやすい環境づくり

土村 秀俊 17

- 教育費の負担軽減
- 中小企業振興条例への取り組み

一般質問＝議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。本町議会の質問時間は、1人30分以内で、答弁時間は含まない。



えんどう のりこ
遠藤 紀子



質問者の動画
が見られます

一般質問

問

リフノス
障がいのある人に
配慮は

答
図書館は
利用介助などを提供する

問 町内には、まだ盲導犬が入れない店がある。「ペットと違う」ということを、商工会に強く要請しては。

答 視覚障がい者45人のうち、利用者は6人である。PRしているが増える。

答 施設は「福祉のまちづくり条例」に定める基準に適合している。図書館では、利用介助や音声資料を提供する。

問 「リフノス」は、障がいのある利用者に対し、どのような配慮があるのか。

答 ない。広報5月号からユニチューブ視聴の仕組み作りを行っている。

問 視覚に障がいのある人のために、町の情報を伝える「声の広報」がある。利用者が増えないが。

答 平成30年の一般質問後、商工会にパンフレット・チラシを配布した。同時にアンケート調査も行ったが、「※身体障害者補助犬法を認識していない」が35%あった。今後も理解に努める。



盲導犬「ニア」もリフノスを見学

問

「ぺあっこ」
父親参加の工夫を

答

土曜日開催を
検討していく

問 子ども家庭センター「ぺあっこ」が開設された。父親の参加を促す工夫が必要ではないか。

答 「プレパパ・プレママひろば」等の土曜日開催を検討していく。

問 男性トイレに、おむつ交換のベッドは。

答 現在は置いていない。どういう形で設置できるか検討する。

問 講座や実習開催時、託児の体制が必要である。町主導で託児グループを作っては。

答 託児が必要な時は職員が対応している。ボランティアで対応していければと思う。

問 ベビーベッド等のレンタル事業がある。チャイルドシートは窓口が別であるが。

答 一本化を検討する。

問 福祉センターの入口の扉は事故が心配である。

答 利府高校側は改修した。予算がかかるので、しばらく時間が欲しい。

※ 身体障害者補助犬法＝お店や病院などの施設で、障がいのある人のパートナーである盲導犬などの補助犬の同伴受け入れを義務付ける法律



わたなべ ひろえ
渡邊 博恵



質問者の動画
が見られます

一般質問

問 館山公園の 犬のふん対策を

答 看板を設置し注意喚起する



ポイ捨てたばこが目立ちます

問 令和2年度の不法投棄の現状はどうか。

答 エアコン、テレビなど、370件であった。費用は49万7903円かかった。

問 ポイ捨てされたたばこのフィルターは汚染物質である。川から海へと流れ、※マイクロプラスチックごみになる。ポイ捨てのために監視カメラを設置してはどうか。

答 塩釜保健所の監視カメラ2台を二市三町で利用している。不法投棄の多い場所に設置している。

問 館山公園の犬のふん対策を。

答 看板を設置して、注意喚起する。

問 塩釜保健所の監視カメラを、桜の季節だけ犬のふん対策に使うことはできないのか。

答 不法投棄監視用のカメラである。現状では難しい。

問 公共施設の 維持管理と点検は

答 日常点検は職員 定期は業者が確認

問 令和3年4月に白石小で防球ネットが倒れ児童が亡くなった。その後、県教育委員会からの点検要請があった。点検の結果はどうであったのか。

答 すぐに町内全小中学校に対して学校施設の緊急点検を指示。問題なしと報告を受けている。

問 学校以外の公共施設の維持点検はどのように行っているのか。

答 日常の点検は職員が行っている。定期点検では専門知識を持った業者が確認し、維持管理に努めている。

問 公園の遊具の点検状況と事故があった場合の対応はどうか。

答 町の公園は児童遊園を含め78か所で266基の遊具が設置されている。年一回定期点検を実施し、適切な維持管理に努めている。万が一、事故が発生した場合には、速やかに担当者が現場に駆け付け対応する。危機管理は徹底している。

※ マイクロプラスチック=5mm未満のプラスチックの粒子や断片



おいかわ 及川 ともよし 智善



質問者の動画が見られます

一般質問

問 公共施設での屋外喫煙所の撤去を

答 検討を重ねたが撤去に踏み切れない

問 公共施設での屋外喫煙所はコロナ感染拡大防止の観点からも、全面撤去すべきではないか。

答 「はつらつ健康利府プラン」に基づき受動喫煙防止に取り組むため条例制定は検討しない。

問 禁煙したい人のために禁煙外来への受診を勧め、治療費の一部補助を検討してはどうか。

答 禁煙外来の治療費の補助を行っている医療保険者も増えている。一部補助は考えていない。

答 役場では人通りが少なく、目立たない場所に設置している。職員には昼休み以外の喫煙を禁止し、密を避けて喫煙するように指導している。町の公共施設利用者の中にも喫煙する人がいる。検討を重ねたが撤去に踏み切れない。

問 道路上の歩行喫煙や店舗等周辺での屋外喫煙が散見される。受動喫煙防止の点から条例制定を検討すべきでは。



庁舎から離れた場所の喫煙所です

問 ※1LGBT パートナーシップ制度導入へ

答 国の法整備の動向を見守る

問 避難所におけるLGBTの人への対応や配慮はどうか。

答 一見して分からないLGBTの人への対応は町民の認知度も低く、どのような配慮が必要なのか情報が追いついていない。今後検討していく。

問 スカートでもスラックスでも着用できる※2ジェンダーレス制服を中学生に採用し、選択の余地を与えては。

答 一部の中学校ではスラックスの着用が選択できる。

問 現在、LGBTを対象にパートナーシップ制度を導入している自治体が100を超えている。町としても条例や要綱を整備して相続権、子の共同親権等、配偶者としての地位を確立できるように制度化すべきではないか。

※1 LGBT=性的少数者の総称
 ※2 ジェンダーレス=社会的、文化的に求められる性差の境界をなくそうとする考え方



今野 隆之
この たかゆき



質問者の動画が見られます

一般質問

脱炭素社会の実現

問

町の取り組みは

答

防犯灯・道路灯のLED化を決定



水素燃料の公用車導入は県内初

問 2050年までに「温室効果ガス」排出を実質ゼロにする脱炭素社会に向け、町の取り組みは。また、実質ゼロとする方針表明は早急に行うべきでは。

答 「リフノス」の循環型施設や防犯灯・道路照明灯のLED化、公用車に水素燃料車の導入等を

実施。「利府町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」は令和4年度を目処に改定する。ゼロ表明は前向きに検討する。

問 県内では、太陽光発電システム等の助成を半數近くの16市町村で行っている。町でも補助金制度を導入すべきでは。

答 今後検討を進めていく。

問 町民の環境に対する意識の現状は把握しているのか。アンケート調査を実施すべきでは。

答 いろいろな情報を提供しながら、町民の意識の醸成に努めていく。アンケート調査の実施は検討する。

問

子どもの貧困対策
町の取り組みは

答

子ども医療費助成制度を
拡充し実施

問 子どもの貧困対策の取り組みは。

答 令和3年4月から「子ども医療費助成制度」を拡充し実施している。今後も効果的な子育て支援サービスを提供できるよう検討する。

問 「貧困の連鎖」は子どもの将来が閉ざされることになる。町はどう対策するのか。

答 行政や援助機関による支援やコミュニティ内

の助け合いなど、セーフティネットが必要だと考えている。宮城県南部自立相談支援センターと連携し、食糧支援、就業援助など対応を図っている。

問 ひとり親世帯の養育費不払いをなくすために、明石市では調停申し立て、公正証書の費用を補助している。町も支援を検討すべきでは。

答 今後調査研究していく。

これも
質問

危険ブロッック塀等の安全対策は

補助制度を活用し
早期改善を図る



たか くら とき お
高久 時男



一般質問

問 観光振興の予算に対する効果は

答 町を全国に発信していく

問 総合計画の「実施計画書」に「JAFとの連携による公道でのモーター

レースの実施及びイベントを開催する」とある。実施は可能なのか。

答 実施へのハードルは高いが、競技種目や規模、ルート設定で可能と確認済みである。

問 警察と打ち合わせているとのことだがどうか。

答 安全性を十分確保し実施するのであれば良いと了解は得た。

問 今回この事業に160万円の予算を計上している。予算に対する観光振興の効果は見えづらい。この予算を芸術文化協会やスポーツ協会にまわした方が町全体にとって有意義ではないか。

答 今日、明日で結果が出ることはない。モーターレース事業の開催を通して町を全国に発信する。子どもたちに大きな夢を与え、さらに新たな観光振興と地域経済の活性化に繋げたい。



連携事業によるオートテスト

問 公共施設の利用制限解除の理由は

答 適正な判断と捉えている

高校卒業予定者の雇用確保を図るため、利府松島商工会や利府町産業振興協議会に要望書を提出した。

問 所得が激減した町民に対し生活支援を行う考えはないか。

答 町独自の生活支援策は、今後の地方創生臨時交付金の動向を見ながら検討する。

問 「まん延防止等重点措置」の期間中に、公共施設の利用制限を解除したのはなぜか。

答 町民の健康維持のため、町民に限定し利用を再開した。

問 重大な判断ミスだ。感染リスクを高める機会を提供したよつなものだ。

答 適正な判断と捉えている。

問 二市三町で行っている失業や雇用不安に対する取り組みはどのような政策か。

答 正社員として雇用する場合には、1人につき10万円の奨励金を交付した。

ここにのりしろ②を貼り合わせてください。

アンケートの御協力を お願いします。

2019年の改選後、これまでの議会改革を更に進めるために、特別委員会を設置いたしました。

議会基本条例、開かれた議会、議会のICT化、そして継続的な議会改革といった問題に取り組んでおります。

コロナ禍により、直接皆様のご意見を伺うことができませんので「議会だより」の中でアンケート調査を行うことといたしました。

※ アンケートの集計結果は「議会だより」で公表させていただきます。あらかじめご了承ください。

議会事務局 ☎ 022-767-2127
FAX 022-767-2110
メール gikai2@rifu-cho.com



のりしろ③を貼り合わせてください。

のりしろ①を貼り合わせてください。

切手を貼らずに投函ください。



料金受取人払郵便

差出有効期間
令和3年
9月30日まで



おたのめを
おかけください
行

9810190

宮城郡利府町利府字新並松四番地
利府町役場議会事務局内
(受取人)

※宛名面が表になるように折って封筒を作り、のり付け後そのままポストへ投函してください。
Faxとメール(QRコード)でも受け付けています。



「あなたの声をおきかせください」アンケート

今後の議会運営の参考とさせていただきたいので、お手数をお掛けしますが、アンケートにご協力願います。

問1 あなたの年代(10歳刻み)を教えてください。⇒ _____ 歳代

問2 議会(員)活動に関心がありますか

1 大いにある 2 ある 3 ない 4 全くない

理由：

問3 議員に意見や要望を伝えたことがありますか

1 ある 2 ない

理由：

問4 「議会だより」のQRコードを利用したことがありますか

1 ある 2 ない

理由：

締切 令和3年9月30日

次回は、12月定例会の議会だよりに掲載予定です。

～ご協力ありがとうございました。(利府町議会議員一同)～

のりしろ ②

のりしろ ①

のりしろ ③

※宛名面が表になるように折って封筒を作り、のり付け後そのままポストへ投函してください。
Faxとメール(QRコード)でも受け付けています。



おのり 木村 範雄
きむら 木村 範雄



質問者の動画が見られます

一般質問

問 路上に砂利が散見 側溝脇の整備を

答 ※1乳剤処理など 効果的な対策を検討

問 路上に砂利やコンクリートのかげらが散見される。また、側溝脇の破損部から砂利等が路上に流れてくることも想定される。側溝脇の整備を今後どのように進めていくのか。

答 砂利などが流出しないよう、アスファルト乳剤処理など効果的な対策を検討したい。

問 その処理だけでは抑えられないと考えるが、砂利は飛ばなくなるのか。

答 乳剤処理で抑えられる期間は限られている。継続的に続けていきたい。



砂利の飛散防止が必要な路側

問 宅地が擁壁で囲まれている場合は、土地の持ち主と相談をしながら、擁壁部まで整備をすべきである。

答 民有地の場合、地権者の同意、町全体での整合性が必要となる。さらに慎重な対応を検討する。

問 土地の有効活用 市街化区域編入を

答 新たな市街地の形成を推進する

問 市街化調整区域内の農地で、耕作放棄されている箇所が見受けられる。土地の有効活用を図るためにも、市街化区域編入の検討を進めるべきでは。

答 耕作放棄地を効率的に活用するためにも、農地集積、集約化に取り組み。意欲ある担い手の育成や復興に向けて、支援していきたい。

答 ※2「都市計画マスタープラン」に掲げる将来都市構造の実現に向けて、新たな市街地の形成を推進する。

問 市街化区域の拡大と人口5万人を目指すことは、同じ方向ではないか。

答 そのとおりである。ただ、農業で頑張りたいという人もいる。全ての町民が豊かさを享受し、可能性ある町にしていきたい。

問 農業で生計を立てている人には、これまで以上に農地を活用できるような支援策が必要である。どう考えているのか。

これも質問

問 職員へのPCR検査費用助成を

答 ワクチン接種の方へ 全力投球する

※1 乳剤＝主に舗装の表面処理などに使用。アスファルト乳剤
 ※2 都市計画マスタープラン＝市町村の都市計画に関する基本的な方針



やすだ ともみ
安田 知己



質問者の動画
が見られます

一般質問

問 「スクールサポート スタッフ」の再配置を

答 必要な支援を 見極めていく

問 学校には、コロナ対策として、消毒作業を担う「スクールサポートスタッフ」が配置されていた。4月からは国の補助が無くなり配置されていない。現在、消毒作業は教員が行っているが、教員の負担が増しているのでは。

答 消毒作業は業務員と手分けして取り組み、教員の負担軽減に努めている。

問 教員の負担を減らすためには、町が負担してでも、「スクールサポートスタッフ」を再配置すべきでは。



学校はコロナ対策に頑張っています

答 学校と話し合い、必要な支援は何か、見極めていく。

問 コロナ禍の一斉休校の教訓から、自宅にタブレット端末を持ち帰り、使用する計画がある。タブレット端末の故障や破損の際はどのように対応するのか。

答 壊れたときは状況を調査し、学校から教育委員会へ報告書が提出される。内容を精査し対応する。

問 町民プール 夏の待ち時間解消を

答 整理券を配付し 混雑解消に努める

問 令和2年の夏、新型コロナウイルス感染症の影響により、町民プールは利用者数を制限して運営した。その結果、施設入口前には順番を待つ人であっただけになった日もあった。待ち時間の解消を図るべきでは。

答 令和2年度の運営方法を参考に、さらなる収容制限の緩和を行う。また、待ち時間であってもプールを離れられるように、整理券を配付し混雑解消に努める。

問 町民プールの老朽化に対する修繕はどのように行うのか。

答 一度に大規模な修繕は行わず、年間を通して必要などころから直していく。修繕の平準化で対応する。

問 町民プールは業務委託されている。将来の運営方針は定まっているのか。

答 体育館などの施設は、指定管理者制度を検討している。



鈴木 小枝
すず き はる こ
鈴 木 晴 子



質問者の動画
が見られます

一般質問

問 奨学金を活用した若者の移住促進を

答 Uターンの促進に有効な手段である



大好きな町のために活動中

問 国は奨学金を活用した若者の地方定着を推進している。県外に進学した人が町へ戻るきっかけとなる。事業に取り組んではどうか。

答 この制度は町へ移住し、町内の事業所に就職した人に、奨学金返還額の一部を助成するものである。町へのUターン等の促進に有効な手段の一つであると考え。前向きに検討していきたい。

問 関係人口の創出として、町は※1シビックプライドの醸成を図っていくとしている。町内の学生「マチトリンク学生町おこし協力隊」は、町の魅力発信に自発的に取り組んでいる。この団体を支援することはシビックプライドの醸成に繋がると考える。支援策を検討してはどうか。

答 活動の自主性を尊重しながら継続的な後方支援に努めたい。

問 「内部統制基本方針」の策定を

答 整備を検討したい

問 平成29年の地方自治法改正で都道府県及び政令指定都市は「内部統制基本方針」の策定が義務付けられた。その他の自治体の策定は努力義務となっているが、町民からさらに信頼される行政運営に必要であると考え、町長の考えを伺う。

答 平成23年10月、「利府町行政品質向上マニュアル」を制定し運用している。今後、必要に応じて見直しを進めながら、「内部統制基本方針」の整備も検討していきたい。

※1 シビックプライド＝都市に対する市民の誇り

※2 ハラスメント＝職場において行われる①優越的な関係を背景とした言動、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの、③労働者の就業環境が害されるもの、①から③までの3つの要素を全て満たすものをいう。



にしざわ ふみひさ
西澤 文久



質問者の動画
が見られます

一般質問

問 乳がんグローブの活用で検診促進を

答 配布用品としての活用を検討する

問 30歳から39歳までの超音波検診を医師会はどのように考えているのか。また、市や町が要望を出

した場合、超音波検査は可能なのか。以前にも提案しているが、塩釜医師会からの回答は。

答 医師会は前向きな実施を検討しているが、現在、コロナ禍で話し合いは進んでいない。コロナ収束後、実施に向けた具体的な協議が進められる。



乳がんグローブで自己検診

問 乳がん検診へ意識を高める方法として、乳がんグローブの活用は自己検診を簡単かつ手軽に行える。早期発見や、検診促進のきっかけにもなる。乳がんグローブを活用する考えはないか。

答 乳がんグローブは、自己検診用具として有効であると認識している。自己検診啓発用品として周知だけではなく、配布用品として活用できないか前向きに検討する。

問 若年層の投票率向上を

答 SNSで効果的な選挙啓発を行う

問 令和元年の参議院選挙では、新有権者数は737人対し、投票者数が255人と半数にも満たない。18歳から19歳に向けた啓発は。

答 コミュニティセンターのほか、イオンモール新利府南館を想定している。実証実験の場にしたと考えている。

答 町の公式SNSを活用し、若年層に効果的な選挙啓発を行う。

問 インターネットで投票ができれば、若年層の投票率向上が期待できる。調査研究が必要では。

答 国の動きなどを注視しながら、情報収集に努める。

問 平成29年10月の衆議院選挙では、町の当日投票数が1万215人で期日前投票が5694人になっている。投票率向上を図るため、期日前投票所の増設が必要ではないか。



つちむら ひでとし
土村 秀俊



質問者の動画
が見られます

一般質問

問 学校給食費無償化の 再度検討を

答 先進事例を参考に
引き続き検討する

問 コロナ禍による厳しい経済状況が保護者の家計にも影響している。前回の給食費免除条例案の質疑や給食費無償化実施自治体などを参考に再度、給食費無償化を検討すべきと思うがどうか。

答 コロナ感染対策を優先しなければならぬ。給食費無償化は令和元年12月定例会で出された議員の意見を踏まえ、先進的な名取市の事例なども参考にし、引き続き検討していく。

問 コロナ禍で家計が厳しくなっている場合は就学援助の支援が必要と

る。家計急変という特殊な場合でも速やかな認定と支給が必要だ。町の対応は。

答 コロナ禍による経済的影響が発生した世帯にも就学援助を行う。学校の配布物や町のホームページを活用し制度の周知を図る。



食育としての学校給食は重要

問 中小企業振興条例の 取り組みは

答 中小事業者
事業継続支援を実施

問 令和2年3月に「利府町中小企業・小規模企業者振興基本条例」が制定され1年3か月が経過した。条例の趣旨に沿って取り組んできた中小企業施策の進捗状況を伺う。

答 融資制度を活用し経営基盤の強化支援を実施。コロナ感染で影響があった事業者に対し、事業継続支援金、経営持続化助成金、新生活様式導入応援助成金などの事業を継続し、支援に努めてきた。

問 今後、策定される予定の中小企業基本計画では、町内の中小企業振興策として、「コロナ対応も含め具体的にどのような施策を考えているのか。

答 中小企業の総合的かつ計画的な推進を図るため、基本計画を策定する。そのための懇話会を令和2年9月に設置。現在10名の委員から意見を伺い令和3年10月の公表に向け作業を進めている。

総務企画 常任委員会



提言テーマ 健全な 行財政運営



初めてオンラインで研修しました

町への聞き取り調査

5月14日、企画部へ「公共施設等総合管理計画」実施状況の聞き取り調査を行いました。主な項目は次の通りです。

- 計画に基づく実施状況
- 施設再編成の検討状況
- 個別施設計画の策定状況
- 個別施設計画を統括、検証する部署の設置
- 予防保全型への転換

説明では、「町の公共施設は短期間で一斉に建替え、更新を行わなければならない時期がくる。現在の財政水準に比べて全体の更新費用が多額となり、非常に厳しい財政状況となるが見込ま

れる。今後、予防保全型へ転換することで予算を確保できないか新たな予算の仕組みを検討している。」とのことでした。今回の調査を提言内容に反映していきたいと思

います。検討、要早急対応）を決め個別計画を策定する際に活用します。

福岡県古賀市

古賀市では公共施設等総合管理計画で「40年間で延床面積を8割の規模にすることをめざす」と掲げています。

5月28日、公共施設管理計画実施状況の先進地研修を行いました。

福岡県中間市

中間市では、公共施設を管理者視点と利用者視点からの簡易評価を実施しています。今後の基本的な4つの整備方針（維持保全、更新検討、利用

公開をしています。施設ごとにカルテを作成しており市民に分かりやすい情報公開をしています。

産業建設 常任委員会



提言テーマ 利府梨の 現状と課題



担当部局から説明を受けました

町への聞き取り調査

7月5日、経済産業部より、梨農家の後継者問題と地域おこし協力隊の活動内容を調査しました。

後継者がいる梨農家は、継承者が意欲的に梨栽培に取り組んでいます。一方で、令和2年度に行つた農地基本台帳アンケート調査では、後継者がいない農家は半数を占めています。今後は耕作面積の激減が考えられます。

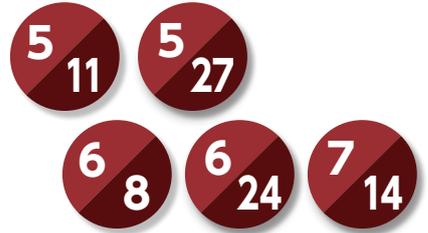
さらに、後継者不足で耕作放棄地の増加も懸念されます。農地の集約化や関係機関との連携で、担い手の育成・確保を支援することです。

〈主な調査内容〉

梨農家への支援事業・支援体制

- ① 苗木購入や作業の効率化などに要する経費には、継続して支援を実施しています。また、梨を活用した6次産業化に向け、農業者、各種部会・団体、事業者などと意見交換を行っています。
- ② 地域おこし協力隊の成果
- ③ ①町内の梨畑3か所で、梨栽培を行い、知識と経験を積んでいます。
- ④ 地元町内会、消防団に所属し、地域との繋がりに積極的に取り組んでいます。
- ⑤ 「広報りふ」に活動内容を連載しています。また、各自がSNSを使用し、活動をPRしています。
- ⑥ 幼稚園や保育園などで、梨にまつわるクイズを写真や絵で、わかりやすく園児に梨を提供しています。
- ⑦ 公民館教室で梨の講座や梨カレーづくり教室を実施しています。利府梨のPRにつながっています。
- ⑧ 6次産業化の一環として、梨スパイスカレーの開発に取り組んでおり、レトルト化で商品化を目指しています。
- ⑨ 昔の利府梨の包装紙のデザインを参考に、ポロシャツやTシャツなどを作成しました。デザインは職員のユニフォームになり、ニュースにも取り上げられました。

教育民生常任委員会



提言テーマ 英語教育の 充実と学力向上

利府第三小学校

菊谷校長との懇談

菊谷校長の以前の勤務地である蔵王町の英語教育の取り組み等を懇談しました。

主な内容

蔵王町では、平成30年から令和9年までの10年間、英語教育特区の指定を受けています。小学一年生からの英語教育に取り組んでいます。

※ALTは5人で、給食やクラブ活動で常時生徒と関わる機会が持てるような配置が行われています。



画面を通して説明を受けました

校長の話の中で、英語で会話をするためには国語が大事であること、国際理解は、ふるさとを知らなければならぬという内容が印象的でした。

松島第二小学校

英語教育の視察・研修

5年生と3年生の授業参観と、教育長、校長、教頭、教育委員会より指定の英語活動と英語ガイド事業の説明を受けました。

主な内容

授業参観では、ALTとの挨拶や歌、ゲームなどで和やかに授業が始まりました。楽しみながら知識の習得につながる取り組みです。3年生は、色を英語で表現する内容タブレットを使い、それぞれ個性的な虹が完成しました。その後は、自分の色の発表。短時間で色



タブレットで虹を描きました(3年生)



ゲームを取り入れた授業です(5年生)

5年生と3年生の授業参観と、教育長、校長、教頭、教育委員会より指定の英語活動と英語ガイド事業の説明を受けました。

松島町は、2年間の英語教育の県指定を受けています。通常の場合、各学校や担任の取り組み方に差が出る可能性があり、町全体が同じ水準で進むために指定を受けたとのことでした。

自分の町に関心を持ち、世界に発信するため、来町する外国人に、歴史ある町のガイドを英語で行う「松島子ども英語ガイド」を、教育の一環として取り組んでいます。令和2年から産業観光課主



研修はとても参考になりました

管を教育課に移行しました。国際交流員やALTの協力で事業が進んでいます。直接、自分の英語で外国の人と会話する機会が、必ず自信へとつながっていくと思います。

提言提出

3常任委員会からの提言書は9月定例会で町長に提出します。

これまでの提言内容

- 総務企画常任委員会
● デマンド交通 H28年12月
- インターネットを活用した情報発信 H29年9月
- 協働のまちづくり H30年9月
- 収納率向上に向けた取り組み R元年6月
- 産業建設常任委員会
● 利府梨の現状と課題 H28年12月
- 中小企業・小規模企業の振興 H29年9月
- 道路整備及び維持管理 H30年9月
- 下水道の整備状況 R元年6月
- 教育民生常任委員会
● 認知症施策 H28年12月
- 障がい者の就労支援 H29年9月
- ICT教育 H30年9月
- 環境問題 R元年6月



これまでの提言内容

議会活性化特別委員会

第1分科会

議会基本条例

内容の精査がほぼ終了し、条例としての文言の整理を行いました。
今後、制定に向けて町民の皆さまの声を反映できるように内容を検討しています。

第2分科会

タブレット導入

導入スケジュール

実施するには、実施計画を策定し、費用対効果を考える必要があります。それによって執行部より予算措置されます。
県内導入も次々と始ま

っています。委員会では令和4年4月導入を目標にスケジュールを作成する計画です。

アンケート調査

議会改革を進めるため、町民の声をいただきたく、実施することになりました。今回の「議会だより」にアンケート用紙を入れました。ご意見をお寄せ下さい。

タブレット導入に向けての業者説明

● 他自治体の導入例
● 概算見積もりの説明
● 質疑応答
説明を受けた後、委員会の中で、導入スケジュールを確認しました。



議会活性化が進む柴田町

7 柴田町のタブレット導入状況

議会広報常任委員も一緒に参加しオンラインで行いました。

研修項目

- 導入の現状と課題
 - 導入の活用効果
 - 町との調整
- 柴田町ではペーパー化だけでなく、災害時の情報共有などさまざまな活用方法の工夫がありました。

これまでの先進地研修やソフトの操作講習内容を踏まえ、導入に向け取り組みでまいります。

委員会活動レポート

議会運営委員会

町へ要望書を提出

「利府リボン」の中止又は延期への要望

町からの回答

利府町観光大使任命記念大会「利府リボン」は、4月18日に開催されました。4月5日から「まん延防止等重点措置」が適用され、県全域で不要不急の外出や移動自粛等の徹底が県民へ要請されている中でした。

議会としては、開催が、新型コロナウイルスを拡大させる一因となると考え、次の通り4月12日に町へ要望書を提出しました。



要望書を提出しました

1 利府町観光大使任命記念大会「利府リボン」の中止又は延期

2 町主催行事等の開催における町民への周知

1 中止又は延期

今回の開催に際して、主催者及び県と協議を重ね、国が示す目安や町の実施方針をさらに上回る厳しいガイドラインを設定し、徹底した感染防止対策を講じ開催します。

2 町主催行事開催の周知

行事等の開催は引き続き迅速な情報発信に努めます。

長期欠席に関する条例

2月から検討を重ねてきた、議員が長期欠席した場合の報酬減額の条例を6月定例会に提出し可決されました。

「欠席期間をどのように定めるのか」との意見があり、協議の結果、欠席をした会議から次に出席する会議までの期間としました。

報酬の減額割合は、他自治体の動向や、議員の活動日数、町職員の規定を参考に算出しました。

5ページに掲載

全員協議会

6月3日、全員協議会で報告があった主な事項をお知らせします。

コロナワクチン

接種状況報告

令和3年5月11日より接種を開始しました。接種状況と今後の方針等の報告がありました。

※接種状況

(令和3年6月30日現在)
対象者数 9159人
(65歳以上)
接種者数 5793人
接種率 63・25%
町内各団体へ接種協力体制の確保

予約が困難な人への声掛け等を地域包括支援センター及び社会福祉協議会、各行政区の民生委員・児童委員へ依頼
外国語・聴覚障害への対応
「みえる通訳システム」の導入 タブレットを使用し、遠隔操作で対応

今後の実施方針

- 令和3年6月中旬
- ・64歳以下へ接種券送付7月上旬
 - ・基礎疾患を有する人
 - ・64歳以下の予約開始7月中旬
 - ・基礎疾患を有する人
 - ・64歳以下の接種開始

衛生用品の配布

コロナ感染拡大による「生理の貧困」への対応

新型コロナウイルスの感染拡大により、経済的な事情で生理用品を十分に用意できない「生理の貧困」が問題になっています。生理用品を購入することが困難な町内の学生を支援するために必要な人へ生理用品を無償配布することになりました。

配布対象者

町内在住の高校生、専門学校生、大学生の女性

役場総合案内窓口

保健福祉センター

(窓口)に設置されているリーフちゃんの提示カードを女性職員に提出し(配布)

町内小中学生

町内各学校トイレに配置及び保健室で配布
配布期間

令和3年7月1日から
なくなり次第終了
イオンスタイル新利府店より地域貢献事業の一環として全300セットの寄付によるものです。



学校のトイレに配置されました

十符の里利府 フェスティバル

令和3年度は

開催予定

「町が主催するイベント・会議等に関する実施方針」を基本とし、コロナの状況を注視した柔軟な対応と感染対策を講じ開催する予定です。

「町民のふるさと意識の高揚と地域産業の活性化」を目的としています。

日程 10月3日(日)

時間 午後1時から8時
(屋内イベントは午後6時まで)

メイン会場 文化交流センター「リフノス」

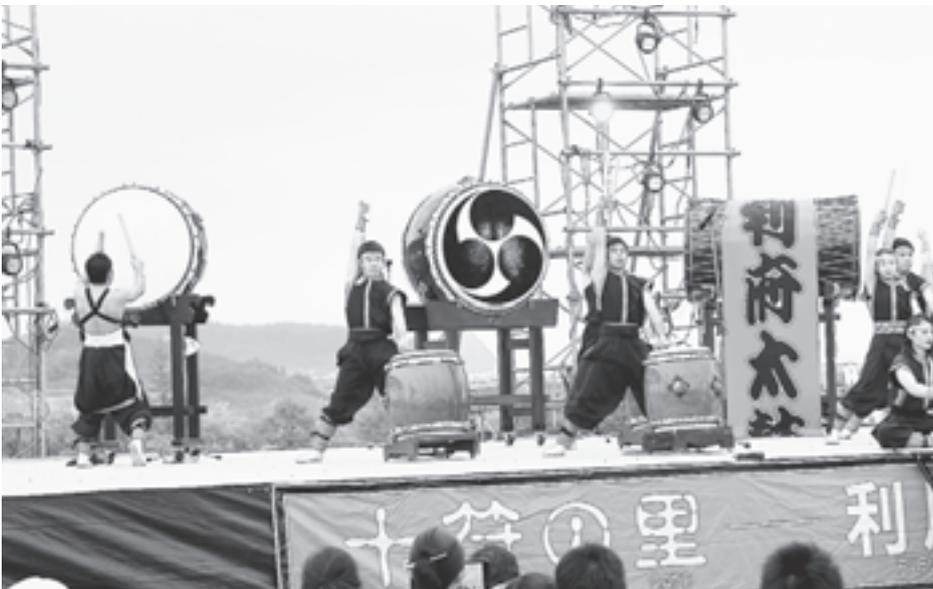
利府梨販売会(同日開催)

時間 午前10時から午後0時30分まで(売り切れ次第終了)

会場 イオンモール新利府北館西平面駐車場北側

ポイント

- 会場やイベント時間の分散
- 参加者全員への消毒液配布
- 町民中心の楽しめるイベント
- 医療従事者への感謝の気持ちを込めたメッセージ花火の打ち上げ
- SNSを活用したイベント参加、オンライン配信
- 町外への宣伝は行わない



フェスティバルは「リフノス」を予定

※ 接種状況=報告では5月31日現在の数値でしたが、最新のデータを示しています

第21回 いきいき活動

学生町おこし協力隊

MachitoLink in Rifu.

「マチトリンク」



議場でパチリ

—会が始まった時期と、きっかけは。

2020年3月です。高校に入り、離れてしまった仲間と、再びふれたいと思ったのが始まりです。利府町が大好きでこんな町にしたいとの思いを共有したいと考えました。

「十符っ子ブラザーシップ」で知り合った仲間に声をかけ、利府中出身の5人が集まりました。

しかし、直後にコロナ禍で構想はストップ。長いブランクがありました。その年の年末から仕切り直しをして活動を再開しました。

—会員数は。

6月5日の河北新報に学生町おこし協力隊として活動が紹介されてから、高校生と大学生が2人加わり7人になりました。

—どんな活動をしていま

すか。月に2回位集まっています。学校が別々で、部活もあり、全員が集まるのは難しい状態です。

SNSで町のいろいろな情報を発信しています。大きな目標は、令和4年

イベントを開催したいと思っています。保育園、幼稚園、各学校や各種団体に声をかけ、ランタンに思いを書いてもらいます。SDGsを考え、ろうそくではなく、LEDのランタンを上げたいと思います。

スカイランタンイベントを企画中!



富士河口湖スカイランタンフェスティバルより(イメージ)

5月か6月にスカイランタンを上げるイベントを考えています。

—スカイランタンを具体的に教えてください。

まだ計画の初段階ですが、来年の町制施行55周年に合わせて、550個のランタンを空に上げる

問題は、費用と場所です。250万円位かかります。まちづくり助成金を出している企業の協力

やクラウドファンディングも可能かなと思います。費用は大きな問題です。他にも、キッチンカーで学生のカフェを出店し

てみたいです。キッチンカーフェスのようなものも面白いかもしれません。夢は膨らみます。

—活動する上で困っていることは。

今、7人で活動していますが、全員が利府中出身です。ぜひ、しらかし台中や利府西中の出身者も参加してほしいです。この町が好きで学生は、たくさんいるはずですが、社会人になって町を離れてもイベントの時、戻って来てくれるような仲間を増やしたいです。

—活動を通して良かったと思うことは。

もちろん、共通の目的を持つ仲間ができたこと。そして、私たちの活動を応援して下さるたくさんの方



盛り上がったインタビュー

※ クラウドファンディング=インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達すること



マチトリンクの活動支援も!!

道の駅・海の駅があれば、利府の魅力をもっとアピールできると思います!

議会へ まちづくりへ 一言!

予備校の誘致をお願いします。

町民バスの到着時間と電車の発車時間を合わせてほしいです。

雨で大きな水溜りができる所があります。車によく水をかけられるので道路の整備を!

貸し自転車を導入して環境に良いまちづくりを!

カラスがゴミを荒らして歩道が汚ないです。

定期的なゴミ拾い活動を広めてはどうでしょうか。

葉山から陸前浜田駅、利府駅へのバスを増やしてほしいです!

リフノスの学習室にもっとコンセントを増やしてほしいです。

みなさんの素晴らしい活動の様子にとっても感動しました。町のために頑張る若者がいることはとても頼もしいです。これからの活動がさらに広がるよう応援していきたいと思ひます。

大人に出会えたことです。「大人は判ってくれない」という思いがありました。しかし、私たちの発信に対して賛同して下さる大人がいたことは感動です。
また、思いを語り合う中で、まちづくりや経営に興味が出て、進学や将来への道も開けてきました。|最後に「リふ議会だより」に一言。
正直、パラパラと写真を見る程度でした。若者が興味を持てる内容になれば、読む人も増えると思います。

町内で活動している団体やサークルを紹介しています。また、議会に対する意見もいただきました。

住民の 声 こえ



年度ごとにテーマを設定し、4回にわたり
住民の皆さまから意見をいただきます。

令和3年度テーマ

スポーツのまち 利府町

(2回目/全4回)



『マラソンを 友として30年』

さかた ひでこ
坂田 秀子 さん
(野中二部)

私は、利府町内のランニングサークル「利府RC」
所属の市民ランナーです。

マラソンを始めたのは40代半ばでした。利府町は
アップダウンが多く、自然に筋力がついて走れるよ
うになってきました。

最初のマラソン大会は気仙沼の大島つばきマラソ
ンです。日本一厳しいコースを完走することができ
“やれる”と思いました。その後は加瀬沼公園、グ
ランディ21、十符の里パークでマラソン、水泳、筋
トレの練習を重ねました。その頃から毎年十数回の
マラソン大会を走ってきました。印象深い大会は、
ゴールドコーストマラソン、仙台国際ハーフマラソ
ン10回連続出場、サロマ湖100kmウルトラマラソ
ン(50kmの部出場)、東京マラソン、大阪マラソン、神
戸マラソン、名古屋ウイメンズマラソン、ホノルル
マラソンです。

2010年ねんりんピック石川大会のマラソンに宮城
県代表で出場して8位入賞し“利府町スポーツ功績
賞”を頂きました。

50代でトライアスロンを始め、2004年には酒田・
矢祭・釜石の大会で1位になり、東北サーキットチ
ャンピオンになりました。

利府町は、スポーツを通じた町民の健康づくりに
熱心で、施設も充実していてスポーツをする環境は
素晴らしいです。パートナーの夫は“100歳まで走
り・泳ぐ”、“全47都道府県のマラソン大会に出場す
る”を目標に十符の里パークでトレーニングに励んで
います。私も夫と共に楽しみながらマラソンを続け
ていきます。

最近グランディ 21でスキндаイビングのレッスン
を受けています。南国の海できれいな魚たちと泳ぐ
のを楽しみにしています。

みんなの議会 傍聴しませんか

○次の定例会は、9月7日(火)から9月17日(金)
を予定しています。

議会からのお願い

取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に
伺うことがあります。ご協力をお願いいたします。

〔表紙説明〕

りふ・わくわく広場

この日の会場は青山小学校体育館でした。
ペーパークラフトでカップを作りました。



編集/議会広報常任委員会

委員長 鈴木 晴子 副委員長 遠藤 紀子
委員 鈴木 忠美 安田 知己 伊藤 司
渡邊 博恵 今野 隆之



「楽天イーグルス
二軍本拠地のまち」



発行 利府町議会

編集・発行責任者/議長 吉岡伸二郎

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地
TEL:022-767-2127 FAX:022-767-2110

この議会だよりは1万3850部作成し、1部あたりの印刷製本費は約21円です。

環境に配慮し再生紙を
使用しています



環境に優しい大豆油インキを使用しています

利府町議会

検索

利府町議会のホームページもご覧ください